

## はなびクラス（2017、2018年度 高田先生クラス）

児童1の年間指導計画を、前期・後期と位置づけ、2年間カリキュラムで実践。

- ・前半1時間：ひらがな、漢字学習（書くこと重視）
- ・後半1時間：アクティビティー（話すこと重視）
- ・宿題：プリントを配布し、翌週のディクテーション練習。毎週宿題あり。
- ・生徒全員が小学1年のワークブック購入
- ・毎学期に筆記テストあり（ひらがな、漢字を含む）

↓ 2年間終えて・・・

- 与えられた課題に意欲的に取り組む生徒が多い。
- 毎週の宿題もしっかり家庭で取り組み授業に臨んでいた。
- 「分かる」を実感できる授業を意図的に行うことで、日本語に苦手意識を持つ生徒も積極的に楽しく取り組めた。笑顔が増えた。
- 全保護者の協サポート体制が大変有難かった。
- △児童2～6生徒対象のため、同じクラスの生徒間で、学力、精神面での個人差が大きい。
- △語彙力が限られているため、指示や話の内容が理解しづらい場合が多々あった。  
。生徒のつまずきを見逃さないよう、その都度時間をかけて支援することが必要。  
。ジェスチャーやプロジェクターを使い視覚的情報を与えることで、実際の物とその言葉の意味が一致し理解し易くなった。
- △この試験的期間は、4技能全般（聞く、話す、読む、書く）を満遍なく取り入れ能力の定着を目指してきた。しかし、はなびクラスの子どもたちにとって、日本語能力の向上ではなく、日本語を楽しく、慣れ親しむ活動中心の授業創りがベスト。

## 2019年度はなびクラス

### 【規約】

- 1、日本語センター児童1クラスを終了した生徒が対象であること。
- 2、ひらがなの読み書きがある程度できること。
- 3、漢字を含む日本語能力・技能の向上を目的または目指すクラスではないこと。
- 4、原則として児童クラスへ戻ることはできない。（特例あり）
- 5、編入希望者は現クラスの教員にその旨を伝え、該当教員とはなびクラス教員双方の合意が得られた場合、はなびクラスへ編入が可能であること。
- 6、外部からの受け入れはしない。

### 【講座概要】

はなびクラス（児童2～6）

- ・2017年4月より試験的に新設された講座。
- ・話すこと・聞くことに重点をおいた授業展開。
- ・アクティビティー（歌・踊り・ゲーム・工作など）を通じて、楽しく日本語に親しむ。
- ・年中行事や季節のイベントなど日本文化に触れる。